

7-b 試乗

もし、ディーラーなどにしっかりと「本気」でフネを購入する意思があることを伝えてあるならば、そのディーラーに試乗のためのフネがある限り、個人的にそのフネの試乗をさせてもらうことは可能だと思います。

もちろん、飛び込みでいきなりやってきた客からそういった頼みごとをされたらディーラーも困るでしょうから、あらかじめ資料を請求するなり、展示艇を見に行くなりして、そのフネを購入の候補艇として考えていることを明確にしておくべきでしょう。

こういったカタチの試乗では、ディーラーもその顧客の意思を理解していますから、マリーナから出て沖をひと回りして試乗終了、というようなことにはなりません。できるだけその顧客の考えるボートに添うように、試乗艇の能力を見せてくれるはずですよ。

*

ディーラーやビルダー主催の試乗会というのは、最も一般的な試乗の機会といえるでしょう。

かつては、特にアポイントなしでも、とりあえず出かけていけばお目当てのフネに試乗できたりしたようですが、さすがにそれだと遊び半分、物見遊山で試乗にやってくる人が多くなりすぎたためか、最近はあらかじめ雑誌広告などに試乗会の告知を掲載し、それに応じて試乗の意志を伝えてきた人を対象とすることが多くなったようです。

こういった試乗では、基本的に数組ずつの顧客が順次乗り替わりでフネを

走らせるというかたちになるでしょう。一応、短いながらも、そのフネを実際に操船する機会はあると思いますし、たとえば国産フィッシングボートのように、スパンカー併用で流し釣りに向いた特性を示すものならば、実際にそれを試す機会があるかもしれません。

ただ、ほとんどの場合、時間的には限られたものとなるわけですが、それでもひととおり、そのフネの基本的な特性や乗り心地、操船性などについては体験できるかと思います。

*

最近、ときおり見られるのが、複数のビルダーやディーラーが合同で行う、体験試乗会のような催しです。

こういったタイプの催しは、そのフネのセールスプロモーションというよりも、ほとんどプレジャーボートというものをご存知ない方に、短い時間でもそれがどういうものかを味わってもらい、少しでもプレジャーボートという乗り物に対する興味を持ってもらおうという催しですから、一般の試乗会とは少しニュアンスが異なります。

ただ、それでも、お目当てのフネがあるならば、それに乗ることのできる機会であることには違いありません。

*

フネに乗り込んだ瞬間の印象というのは、とても大切です。乗り込んだ瞬間に思ったよりもグラリとくるフネもあれば、見かけよりもずっと落ち着いたフネもあるはずですよ。また、同じ「グラリ」でも、ある程度まで傾いてグッとその傾斜が止まるフネもありますし、反発の早いフネもあります。大切なのは、それが自分の感覚として自然に受け止められるかどうかということでしょう。

入出港の際には、その低速域での操船性を確かめたいところですが、そういった際の操船はディーラーの方が行うでしょうから、それは

フネの挙動から想像するにとどめることになります。

*

沖合いに出たら、操船をさせてもらう機会があるでしょう。その場合、一般の試乗会ではかなり限られた時間となるはずですから、あらかじめ試したいことは考えておきましょう。基本的には、自分がそのフネに乗って普通に走る場合の走り方が前提になります。

常に全開全速でない気が済まないという方もおいでかと思いますが、それはそのフネの性能が求められるところに達していないということです。ぜひもっと速いフネを選んでください。

船外機仕様やスターンドライブ仕様のフネならば、必ず試して欲しいのが、そのチルト（トリム）を蹴り上げたり、蹴り込んだりしたときの乗り心地の変化です。これは、船外機やスターンドライブにしかない機能であり、この機能を積極的に使わないのは宝の持ち腐れのようなものです。ただし、ヤママーのドライブは、出荷時にフネの特性に合わせて調整されているため、基本的に航走中はチルト固定で用いるものだそうです。

ガソリンエンジンで最高回転数の80%、ディーゼルエンジンで90%程度を上限と考え、徐々に速度を落としてお気に入りの乗り心地を探し、その前後のエンジン回転数でしばらく走ってみましょう。直感的にそのフネと自分自身の相性の良し悪しが分かると思います。

ただ、海況はもちろん、天候などの影響というのは大きなもので、晴れた日と雨の日では、同じフネに乗ってもまったく印象が違ったりします。とはいえ、これも考え方です。条件の悪い日に試乗して、それでも好印象というのなら、そのフネとはとても相性がいいということなのですから。

*

試乗というのは、フネの性能試験ではありません。あくまでも、自分とそのフネの相性を確かめるためのものです。常にそういう意識さえもっていれば、きっとお気に入りの1艇に出会えるはずです。

